

秋田県知事賞・ネギ部門受賞



能代市・成合

今野 高道さん

経営規模  
水稲3.9 ha、ネギ1.3 ha

周囲の協力を背に  
県知事賞連続受賞!!

昨年の農林水産大臣賞の受賞で、多くの方からお祝いと激励の声を掛けてもらい、それが活力となって、今年の秋田県知事賞の受賞に繋がったと話す、今野高道さん。同地区の今野正勝さん夫婦とは、ネギ栽培講習会へ一緒に出かけるなど、共に家族一体で更なる栽培技術向上を目指しています。

「今年一番苦労したのは、猛暑による暑さ対策。スプリンクラーによる水まきなどを行って、圃場が高温にならないよう気を配り

ました。高温になると、アザミウマや軟腐病など、病害虫の発生が多くなるので、JA指導員とも相談して、適宜防除に努めました。」と今野さん。今年には、有機肥料による土壌の活性化や、防除の徹底を行いました。その結果、太さと白根の長さが適正で、葉の艶が良いネギが作られ、連続での秋田県知事賞受賞に。

「JAには、営農指導や機械整備でお世話になり、また、たくさんの方のおかげで、今回も秋田県知事賞を受賞することができました。その恩返しのためにも、良いネギを作り続け、『あきた白神ねぎ』の良さをアピールしていきたいと思えます。」

秋田県知事賞・キャベツ部門受賞



能代市・荷八田

大高 秀雄さん

経営規模  
水稲3.3 ha、大豆2 ha、  
キャベツ50 a

こだわりの栽培で  
初の県知事賞受賞!!

「今年は夏場の長い干ばつで、自分のキャベツは全滅したと思っただが、そこから復活し、まさか賞まで取れるとは思っていません。植物の生命力に感動です。」と話してく

れたのは、今年初めて秋田県知事賞を受賞した、大高秀雄さん。JAあきた白神キャベツ部会長を務めあげ、管内キャベツの栽培技術向上に尽力してきた、ベテラン農家です。

「キャベツを栽培して18年。圃場に適した肥料農薬の、量や種類について勉強を重ねてきました。特に気をつけているのが散布時期。生長を確かめ、前後2日間は降雨・強風の心配がない時期に、散布するようにしています。そのおかげもあって、今年は虫被害もなく栽培できました。」

今年、高品質キャベツ生産に対する責任を、改めて感じたと話す大高さん。今後は部会を通じて、生産者が産地としての自覚を再認識し、栽培・出荷するよう伝えていきたいと、意気込みを語ってくれました。

秋田県知事賞・キャベツ部門受賞



能代市・吹越

佐藤 謙悦さん

経営規模  
水稲5.7 ha、キャベツ1.6 ha、枝豆1.3 ha、ネギ40 a、山うど40 a、  
ハクサイ30 a

「仲間」と共に、2年連続県知事賞を受賞!!

今年キャベツで、2年連続、3度目の秋田県知事賞を受賞した、佐藤謙悦さん。家族経営で多品目による通年栽培を行い、キャベツ

に関しても、砂地と黒ボクの2種類の圃場で栽培し、リスク分散を行っています。

JAの推奨する薬剤を散布。その薬剤が期待通りの成果を見せ、根こぶ病の発生は無く、来年は全体的に散布する予定です。

「農業は地域の生産者、JA、部会など、多くの人と関わることで情報交換が行われ、自分の栽培の良い点・悪い点を知ることができ、今後はそういった『仲間づくり』を大切にしていきたいと思えます。」

来年は地元能代での種苗交換会の開催。「『白神キャベツはやっぱり良い!』と言われるよう、更なる高品質キャベツの生産を目指し、頑張ります!」